

# 松本政経塾 8月勉強会 松本ミュージックフェスティバル共同イベント

## テーマ「これからの地域イベントの方向性」 イベントで人と街を元気にしよう！！

日時 8月28日 (土)

場所 松本中央公民館 (M ウイング)  
3-2 教室

時間 15:30 受付 16:00 開始

### 内容 第1部 (約60分)

「イベントで街に元気を！！」

講師：三浦英一 (東京飛翔ライオンズクラブ 会長)

### 第2部 (約20分)

「住民主導型イベントの実事例」

発表：安養雅一

- ・松本にはどんなイベントがあるの？
- ・松本のイベントはどれくらい盛り上がっているの？
- ・松本のイベントの課題
- ・全国のイベント紹介
- ・イベントの経済効果



## 【趣旨説明】

今、日本は疲弊しています。

国を見れば、国民の政治不信からねじれては戻りまたねじれるという現象が起き、少子高齢化の進む中で国の借金は増え続けています。

正規雇用で職に就けない新卒者が増える中で、日本経済を支える大企業は国際競争力を上げるために、製品を作る工場をコストの安い海外へと移しました。

一方、地方に目を向けてみると、夕張市をはじめとして地方自治の財政破綻や、モータリゼーション社会による中央市街地の空洞化が進み、政治では国が地方の権限を握り、経済では郊外に超巨大店舗を保有する大企業が駅前から人を吸い上げていきました。

こんな地方にとって、また中央市街地にとって逆風が吹き荒ぶ時代をどう生き抜いていくか？

再び元気な街を取り戻すにはどうするべきか？

「道州制」という議論がされています。

「小さな政府」「地域主導」という言葉が耳に馴染むようにもなってきました。

これからは地域の住民が自分で考え、自分で行動する時代が来るでしょう。そうなったとき地域のリーダーとなるのは間違いなく「元気な街」。都市部に負けない元気な街をつくるためにイベントを活用することはこれから重要になってきます。

音楽の力は計り知れないものがあります。

昨年惜しまれながらも亡くなったマイケルジャクソンは共感したアーティストとアフリカの飢餓と貧困を救うため「We are the World」を歌い、6300万ドルの印税をすべて寄付しました。ジョンレノンはベトナムの悲惨さから「イマジン」を歌い、今でも多くの人から支持されています。

ニューヨークで行われたウッドストックでは40万人もの人間がひとつになってイベントに参加しました。

イベントを行うと本当に地域が元気になるのでしょうか？

これからの地域のイベントのあり方と方向性について考えてみたいと思います。